

CJ シリーズ

CompoNet 接続ガイド

オムロン株式会社

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニット編

(形 CRT1-ID/OD/MD/ROS/ROF、XWT-ID/OD)

目次

1. 関連マニュアル.....	1
2. 用語と定義.....	1
3. 注意事項.....	2
4. 概要.....	3
5. 対象製品と対象ツール.....	3
5.1. 対象製品	3
5.2. デバイス構成	4
6. 接続手順.....	5
6.1. ユニット設定例	5
6.2. 作業の流れ.....	6
6.3. デジタルI/Oスレーブ、拡張ユニットの設定	7
6.4. マスタユニットの設定.....	9
6.5. 接続状態確認.....	15
7. 初期化方法.....	22
7.1. マスタユニット	22
8. 改訂履歴.....	23

1. 関連マニュアル

本資料に関連するマニュアルは以下のとおりです。

Man.No.	形式	マニュアル名称
SBCA-349	形 CJ2H-CPU6□	CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット
	形 CJ2M-CPU□□	ユーザーズマニュアル ハードウェア編
SBCA-350	形 CJ2H-CPU6□	CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット
	形 CJ2M-CPU□□	ユーザーズマニュアル ソフトウェア編
SBCD-338	形 CS1W-CRM21	CS/CJ シリーズ用 CompoNet マスタユニット
	形 CJ1W-CRM21	ユーザーズマニュアル
SBCA-337	形 WS02-CXPC□-V□	SYSMAC CX-Programmer オペレーションマニュアル
SBCD-339	形 CRT1 シリーズ	CompoNet CRT1 シリーズ ユーザーズマニュアル

2. 用語と定義

用語	説明/定義
マスタユニット	CompoNet ネットワークを管理するユニットで、PLC と各スレーブとの I/O データのやり取りを行います。 マスタユニットはネットワーク全体で 1 台のみ接続します。
スレーブ	CompoNet ネットワークを通じてマスタユニットから受け取った OUT データを出力します。 また、入力された IN データを、ネットワークを通じてマスタユニットに送ります。 スレーブには使用点数の大小により、2 種類のタイプがあります。 ・ワードスレーブ： CPU ユニットの I/O メモリに、16 点単位で割り付けられるスレーブ ・ビットスレーブ： CPU ユニットの I/O メモリに、2 点単位で割り付けられるスレーブ
ノードアドレス	CompoNet 回線に接続されたユニットを区別するためのアドレスです。
通信モード	使用する通信モードにより使用できるノード数やサイズ、機能が変わります。設定できる通信モードは 0～3、8 です。

3. 注意事項

- (1) 実際のシステム構築に際しては、システムを構成する各機器・装置の仕様をご確認のうえ、定格・性能に対し余裕を持った使い方をし、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。
- (2) システムを安全にご使用いただくため、システムを構成する各機器・装置のマニュアルや取扱説明書などを入手し、「安全上のご注意」「安全上の要点」など安全に関する注意事項を含め、内容を確認の上使用してください。
- (3) システムが適合すべき規格・法規または規制に関しては、お客様自身でご確認ください。
- (4) 本資料の一部または全部を、オムロン株式会社の許可なしに複写、複製、再配布することを禁じます。
- (5) 本資料の記載内容は、2011 年 4 月時点のものです。
本資料の記載内容は、改良のため予告なく変更されることがあります。

本資料で使われているマークには、次のような意味があります。



安全上の要点

製品を安全に使用するために実施または回避すべきことを示します。



使用上の注意

製品が動作不能、誤動作、または性能・機能への悪影響を予防するために実施または回避すべきことを示します。



参考

必要に応じて読んでいただきたい項目です。
知っておくと便利な情報や、使用するうえで参考となる内容について説明しています。

著作権・商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
CompoNet は、ODVA(Open DeviceNet Vendor Association)の商標です。
本資料に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

4. 概要

本資料は、オムロン株式会社（以下、オムロン）製デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットを CompoNet マスタユニットに接続する手順とその確認方法をまとめたものです。

具体的には、「6. 接続手順」で記載している CompoNet 設定を通して、設定手順と設定時のポイントを理解することにより、簡単に CompoNet 接続することができます。

5. 対象製品と対象ツール

5.1. 対象製品

接続を保証する対象機器は以下のとおりです。

メーカー	名称	形式	バージョン
オムロン	CompoNet ユニット（マスタ）	形 CJ1W-CRM21	—
オムロン	CJ1 シリーズ CPU ユニット CJ2 シリーズ CPU ユニット	形 CJ1□-CPU□□ 形 CJ2□-CPU□□	—
オムロン	ねじ式端子台タイプ 2 段端子台/リレー出力/SSR 出力	形 CRT1-□D08(-1) / □D16(-1) / ROS□ / ROF□	—
オムロン	ねじ式端子台タイプ 3 段端子台	形 CRT1-□D08TA(-1) / □D16TA(-1) / □D08TAH(-1) / □D16TAH(-1)	—
オムロン	e-CON コネクタタイプ	形 CRT1-□D08S(-1) / □D16S(-1) / □D32S(-1) / □D16SH(-1) / □D32SH(-1)	—
オムロン	MIL コネクタタイプ	形 CRT1-V□D16ML(-1) / V□D32ML(-1)	—
オムロン	クランプタイプ	形 CRT1-□D08SL(-1) / □D16SL(-1)	—
オムロン	拡張ユニット	形 XWT-□D08(-1) / □D16(-1)	—



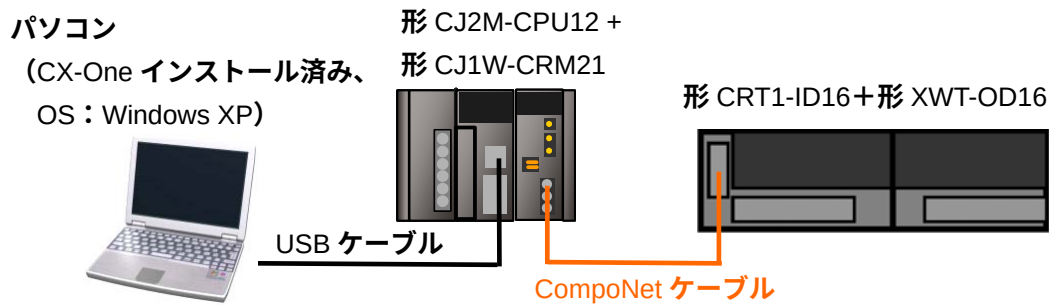
参考

本資料は機器の通信接続確立までの接続手順について記載したものであって、機器個別の操作や設置および配線方法に関しては記載しておりません。

上記製品（通信接続手順以外）の詳細に関しましては、対象製品の取扱説明書を参照するか、オムロンまでお問い合わせください。

5.2. デバイス構成

本資料の接続手順を再現するための構成機器は以下のとおりです。



メーカ	名称	形式	バージョン
オムロン	CompoNet ユニット (マスタ)	形 CJ1W-CRM21	Ver.1.3
オムロン	CPU ユニット	形 CJ2M-CPU12	Ver.2.0
オムロン	電源ユニット	形 CJ1W-PA202	
—	CompoNet ケーブル	(丸型ケーブル II)	
オムロン	CompoNet オープン型コネクタ	形 DCN4-TB4	
オムロン	CompoNet 終端抵抗	形 DRS1-T	
オムロン	CX-One	形 CXONE-AL□□C-V4 /AL□□D-V4	Ver.4.03
オムロン	CX-Programmer	(CX-One に同梱)	Ver.9.21
—	USB ケーブル		
—	パソコン(OS : Windows XP)	—	
オムロン	デジタル I/O スレーブ	形 CRT1-ID16	
オムロン	拡張ユニット	形 XWT-OD16	



参考

CompoNet ケーブルおよびコネクタについては、「CompoNet ユーザーズマニュアル」(SBCD-338)の「第 3 章 配線形態」を参照してください。

また CompoNet ネットワークの配線については、「CompoNet ユーザーズマニュアル」(SBCD-338)の「第 4 章 取り付けと配線」を参照してください。

マスタユニット／リピータユニットから最も離れた先端に終端抵抗を 1 つつけてください。



参考

本資料では CJ2 との接続に USB を使用します。USB ドライバのインストールについては、「CJ シリーズ CJ2 CPU ユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編」(SBCA-349)の「付-5 USB ドライバのインストール」を参照してください。

6. 接続手順

6.1. ユニット設定例

CompoNet ユニットの接続手順を、下表の設定内容を例にとって説明します。

また本資料では、マスタユニットおよびデジタル I/O スレーブ、拡張ユニットが工場出荷時の初期設定状態であることを前提として説明します。各ユニットの初期化については「7. 初期化方法」を参照してください。

6.1.1. 設定内容

CompoNet マスタユニットおよびデジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの設定内容は、以下になります。

	形 CJ1W-CRM21	形 CRT1-ID16
MACH No.	0	—
MODE No. (通信モード No.)	0	—
通信速度 (bps)	4Mbps	(マスタユニットに自動追従)
ノードアドレス	—	0

6.1.2. I/Oメモリエリア割り付け

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの PLC 上での I/O 割付は以下になります。

出力エリア (PLC→形 XWT-OD16)		入力エリア 形 CRT1-ID16→PLC	
2000CH	ビット 00～15	2008CH	ビット 00～15



参考

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの I/O 割付の詳細については、「CompoNet CRT1 シリーズ ユーザーズマニュアル」(SBCD-339)の「第 5 章 デジタル I/O スレーブ」を参照してください。

6.2. 作業の流れ

CompoNet ユニットの接続設定する手順は以下のとおりです。

6.3. デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの設定

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの設定を行います。

6.3.1. ハード設定

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットのハードスイッチを設定します。

6.4. マスタユニットの設定

マスタユニットの設定を行います。

6.4.1. ハード設定

マスタユニットのハードスイッチを設定します。

6.4.2. CX-Programmer の起動と PLC オンライン接続

プログラミングツール「CX-Programmer」を起動し、PLC とオンライン接続します。

6.4.3. I/O テーブルの作成

CPU ユニットの I/O テーブルの作成を行います。

6.5. 接続状態確認

PLC に接続し、ネットワーク接続状態を確認します。

6.5.1. 接続状態の確認

CompoNet 通信が正しく実行されていることを確認します。

6.5.2. データ割り付けの確認

正しい I/O メモリエリアにデータが割り付けられていることを確認します。

6.3. デジタルI/Oスレーブ、拡張ユニットの設定

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの設定を行います。

6.3.1. ハード設定

デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットを接続し、ハードスイッチを設定します。



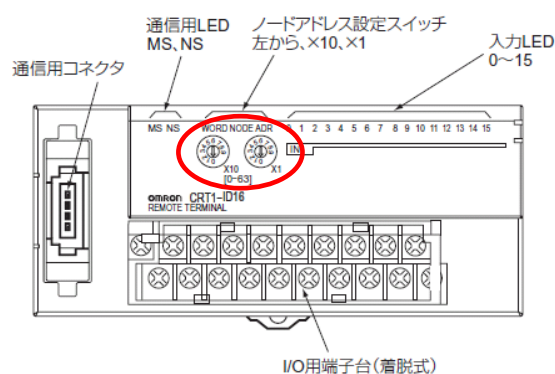
使用上の注意

電源 OFF 状態で設定してください。

- 1 デジタル I/O スレーブ、拡張ユニットの電源が OFF 状態であることを確認します。 ※電源 ON 状態だと、以降の操作において手順どおりに進めることができない場合があります。

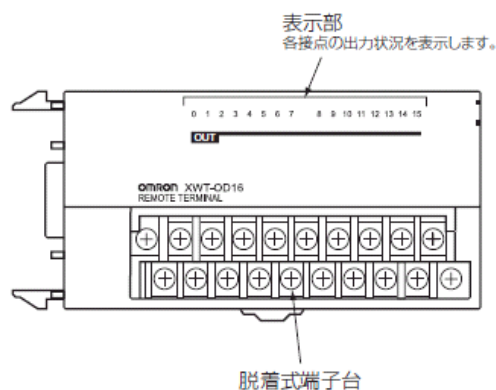
- 2 形 CRT1-ID16 のノードアドレス設定スイッチ(X1、X10)を両方とも「0」、「0」に設定します。

形 CRT1-ID16

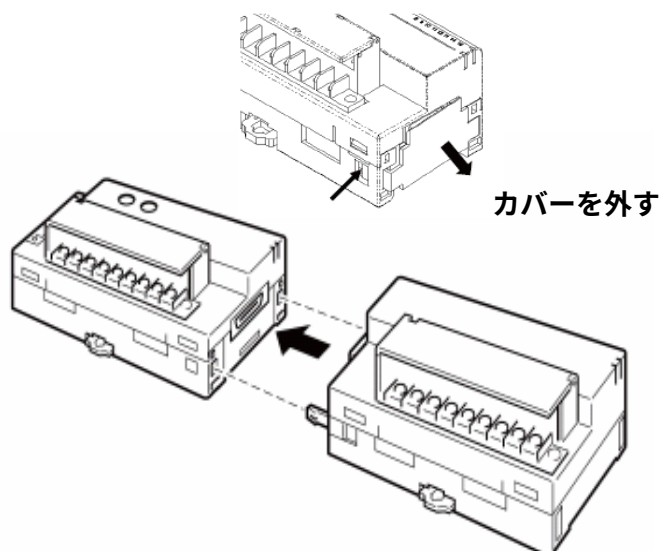


形 XWT-OD16

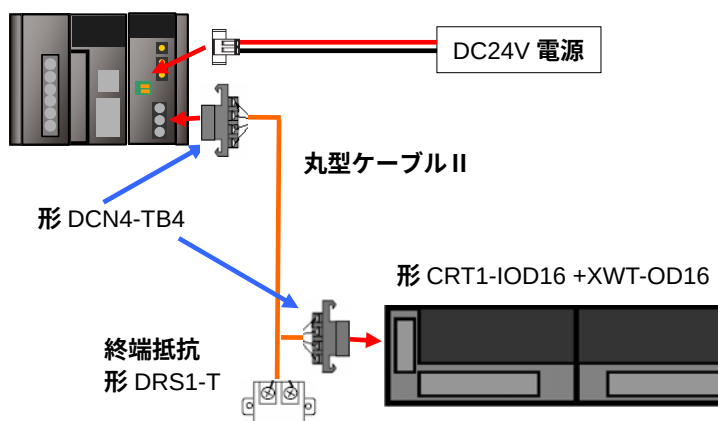
拡張ユニットには、設定はありません。



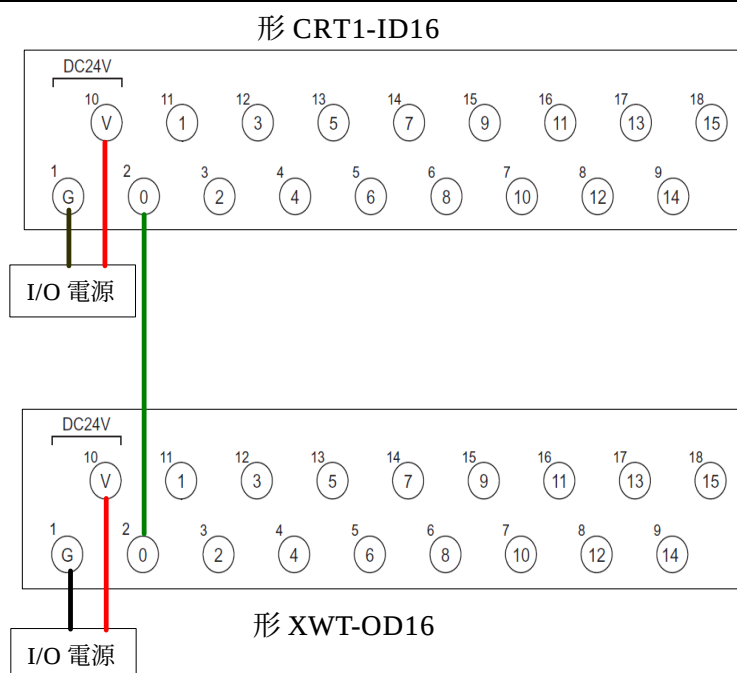
- 3 デジタル I/O スレーブの右側面のカバーを外し、拡張ユニットと右図のように結合します。



- 4 右図のように電源、CompoNet ケーブル、終端抵抗などを配線します。



- 5 図の様に、I/O 電源と、I/O の配線を行います。



6.4. マスタユニットの設定

マスタユニットの設定を行います。

6.4.1. ハード設定

マスタユニットのハードスイッチを設定します。



使用上の注意

電源 OFF 状態で設定してください。

- 1 PLCの電源がOFF状態であることを確認します。

※電源 ON 状態だと、以降の操作において手順どおりに進めることができない場合があります。

- 2 マスタユニット前面のハードスイッチの位置を、右図をもとに確認します。

表示部
マスタユニットの状態、スレーブユニットとの通信状態を表示します。
・LED
4種類のLEDを持ちます。
MS (緑赤)、NS (緑赤)、SD (黄)、RD (黄)
・7セグLED
通信状態、異常コードなどを表示します。
(2桁+「+100」を表す「+」付き)

ロータリスイッチ
・MACH No.
高機能I/Oユニット機種番号設定
10進ロータリスイッチ×2個 (設定範囲：0～95)
・MODE
マスタユニットの通信モードNo.設定
10進ロータリスイッチ×1個 (設定範囲：0～3、8)

ディップスイッチ
通信速度設定、通信停止モード設定、登録テーブル設定を行います(4個のSWを使用)。

SW1	SW2	通信速度設定
DR0	DR1	
OFF	OFF	4Mビット/s (デフォルト) 注：支線分岐不可のため、ケーブル付きスレーブは不可。
ON	OFF	3Mビット/s
OFF	ON	1.5Mビット/s
ON	ON	93.75kビット/s

SW	名称	ON	OFF
3	ESTP (通信異常発生時通信停止モード設定)	通信異常発生時通信停止する	通信異常発生時通信停止しない
4	REGS (登録テーブル有効設定)	登録テーブル有効	登録テーブル無効

通信電源供給用コネクタ
丸型ケーブルⅡ、フラットケーブルⅠ/Ⅱ使用時に、このコネクタへ通信電源DC24Vを接続します。
これにより、幹線上のスレーブ/リピータユニットへ、通信コネクタから、丸型ケーブルⅡ、フラットケーブルⅠ/Ⅱを介して通信電源を供給します。
注：丸型ケーブルⅠを使用時には、このコネクタへは何も接続しないでください。

通信コネクタ
通信ケーブルを接続します。
BS+、BS- (通信電源)、BDH、BDL (通信データ)
BS+、BS-は、丸型ケーブルⅡ、フラットケーブルⅠ/Ⅱ使用時にのみ使用し、通信電源供給用コネクタへ接続した通信電源が出力されます。
注：オープン型コネクタ (ユニット接続用) を使用することで、端子台タイプに交換可能。

- 3 MACH No.設定スイッチ：ユニット号機アドレスを「00」に設定します。



■ MACH No.設定スイッチ

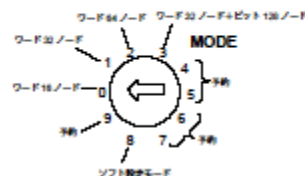
高機能 I/O ユニット号機 No. 設定：10 進ロータリスイッチ×2 個 (設定範囲：0～95)
マスタユニット (PLC 本体) の電源 ON 時に、読み出します。

4 MODE No.設定スイッチ:ユニット通信モード No.を「0」に設定します。



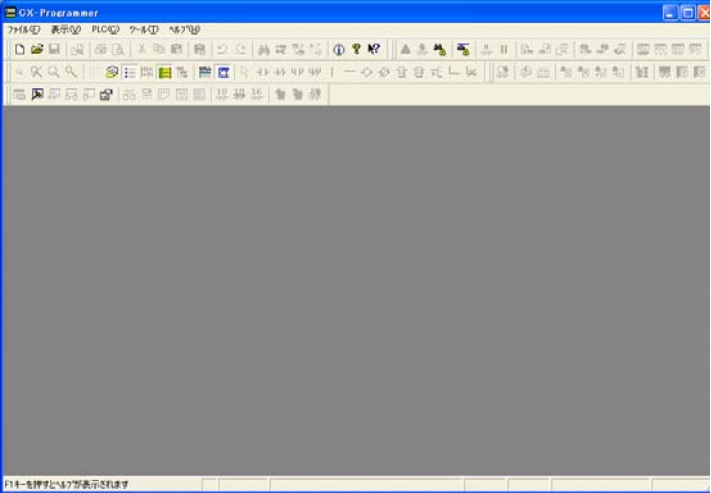
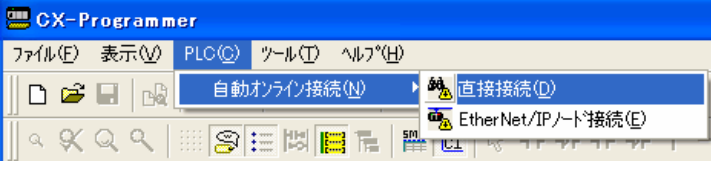
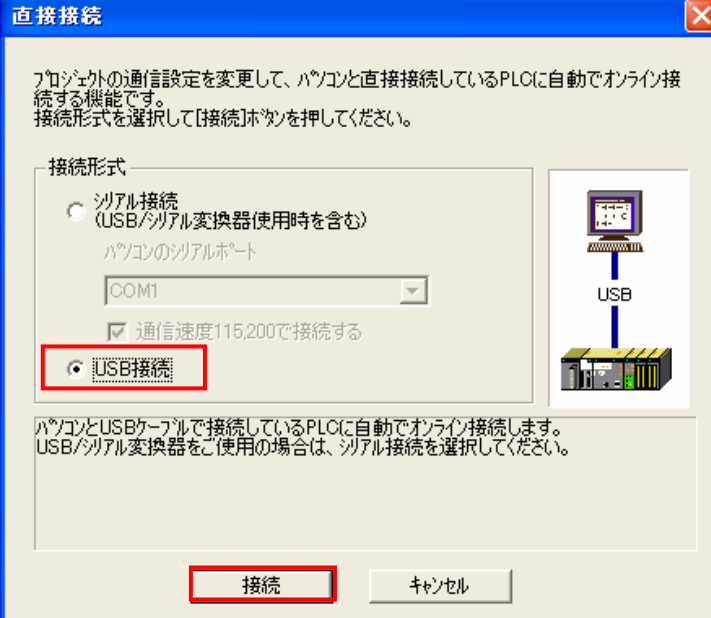
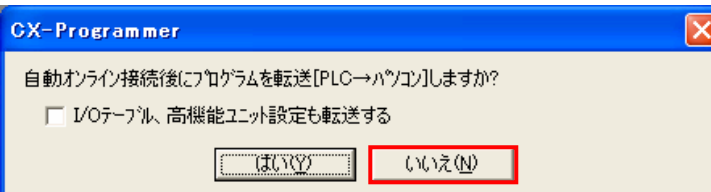
接続するスレーブ台数（ワードスレーブおよびビットスレーブの台数）、制御点数に応じて、通信モード No.を選択します。

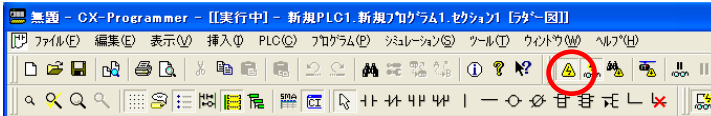
CompoNet マスタユニットの前面ロータリスイッチで 0～3、8 を設定します。



6.4.2. CX-Programmerの起動とPLCオンライン接続

プログラミングツール「CX-Programmer」を起動し、PLC とオンライン接続します。
 ツールソフトおよび USB ドライバを、あらかじめパソコンにインストールしてください。
 また、ここで通信ケーブル（CompoNet ケーブルおよび USB ケーブル）を接続し、PLC
 の電源および通信電源を投入してください。

1	CX-Programmer を起動します。	
2	メニューバーから[PLC]－[自動オンライン接続]－[直接接続]を選択します。	
3	[直接接続] ダイアログが表示されますので、「接続形式」の「USB 接続」にチェックを入れ、[接続] をクリックします。	
4	右図のダイアログが表示されますので、[いいえ] をクリックします。	

- 5 右図のダイアログが表示され、自動接続が実行されます。
- 
- 6 オンライン接続状態になったことを確認します。
- ※「 アイコン」が押された(凹(へこ)んだ)状態であれば、オンライン接続状態です。
- 



参考

PLC とオンライン接続ができない場合は、ケーブルの接続状態等を確認してください。
あるいは 2 項に戻って、3 項の接続形式等の設定内容を確認して再実行してください。
詳細については、「SYSMAC CX-Programmer オペレーションマニュアル」(SBCA-337)の「第 6 章 PLC との接続」を参照してください。



参考

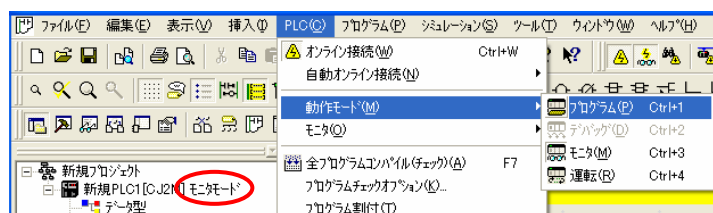
以降の手順で説明している各種ダイアログは CX-Programmer の環境設定によっては表示されない場合があります。
環境設定の詳細については、「SYSMAC CX-Programmer オペレーションマニュアル」(SBCA-337)の「3-4 CX-Programmer の環境設定 ([ツール] | [オプション])」から、
「[PLC]タブの設定」を参照してください。
本資料では、「PLC に影響する操作はすべて確認する」の項目がチェックされている状態を前提に説明します。

6.4.3. I/Oテーブルの作成

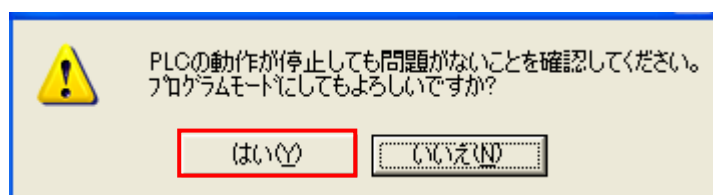
CPU ユニットの I/O テーブルの作成を行います。

- 1 PLC の動作モードが「運転モード」あるいは「モニタモード」になっている場合は、以下の①～③の手順にて「プログラムモード」に変更します。

① CX-Programmer のメニューバーから[PLC]－[動作モード]－[プログラム]を選択します。

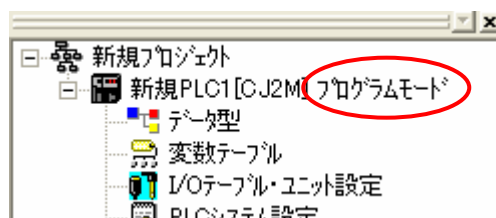


②右図のダイアログが表示されますので、[はい] をクリックします。



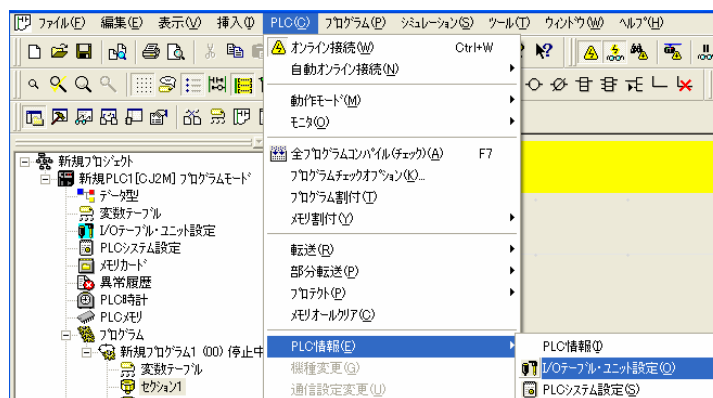
※ダイアログ表示に関する設定については前ページの「参考」を参照してください。

③CX-Programmer のプロジェクトワークスペースにある、PLC 機種右側の表示（右図参照）が「プログラムモード」になっていることを確認します。

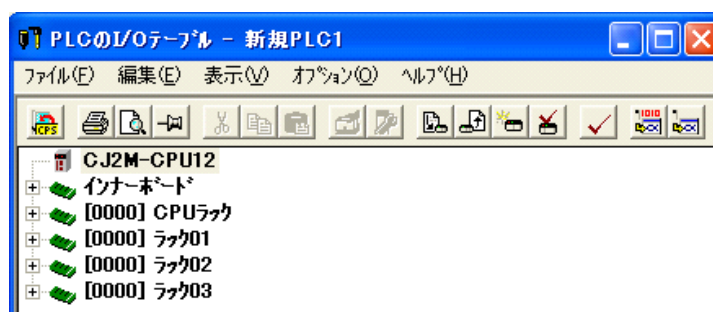


(プロジェクトワークスペース)

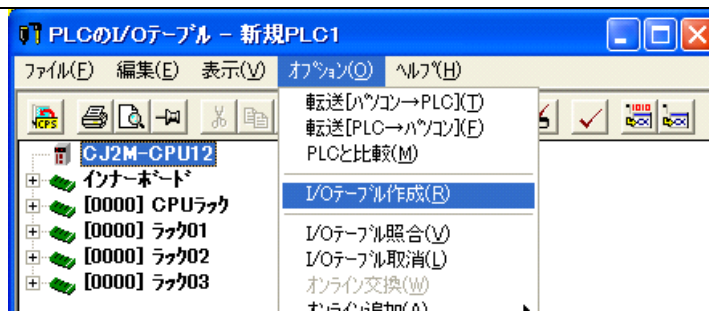
- 2 CX-Programmer のメニューバーから[PLC]－[PLC 情報]－[I/O テーブル・ユニット設定]を選択します。



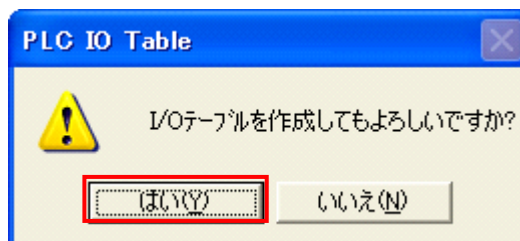
[PLC の I/O テーブル] ウィンドウが表示されます。



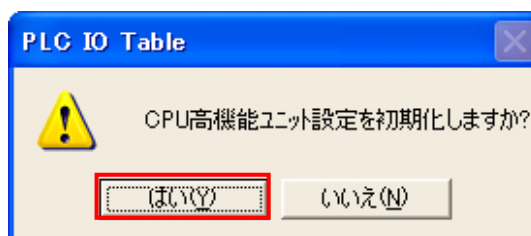
- 3 [PLC の I/O テーブル] ウィンドウのメニューバーから [オプション] - [I/O テーブル作成] を選択します。



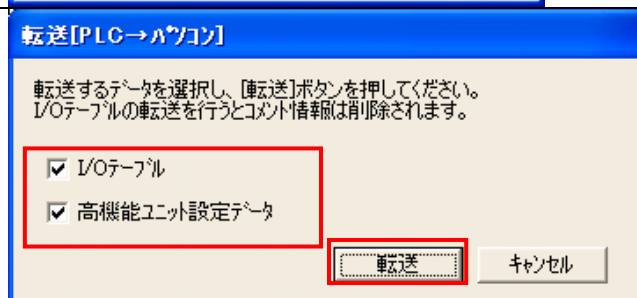
右図のダイアログが表示されますので、[はい] をクリックします。



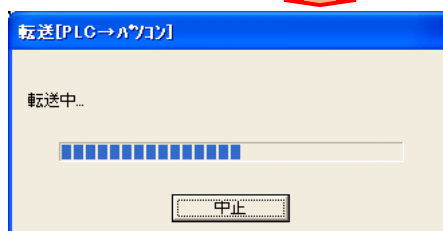
右図のダイアログが表示されますので、[はい] をクリックします。



- 4 [転送 [PLC→パソコン]] ダイアログが表示されますので、[I/O テーブル] と [高機能ユニット設定データ] にチェックを入れ、[転送] をクリックします。

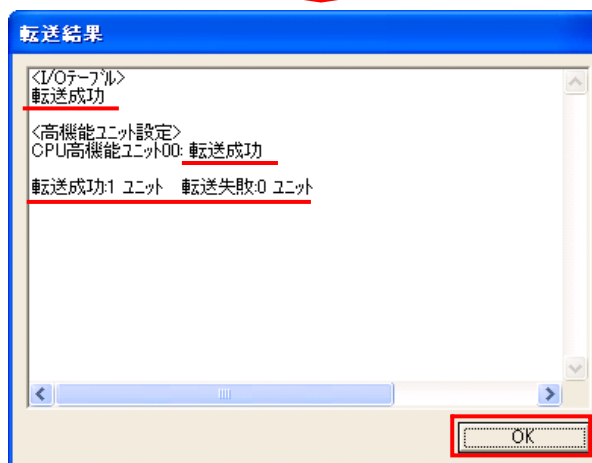


転送が完了すると [転送結果] ダイアログが表示されます。ダイアログ中のメッセージを確認し、転送に失敗していないことを確認します。



右図のとおり、「転送成功：1 ユニット」「転送失敗：0 ユニット」と表示されていれば、I/O テーブルの作成は正常終了しています。

[OK]をクリックします。



6.5. 接続状態確認

ネットワーク接続状態を確認します。



使用上の注意

CompoNet ケーブルを接続するときは、各機器の電源を OFF にしてから接続してください。CompoNet ケーブルや終端抵抗が接続され、CompoNet 通信電源が供給されていることを確認してください。

6.5.1. 接続状態の確認

CompoNet 通信が正しく実行されていることを確認します。

- 1 CompoNet 通信が正常に行われていることを各ユニットの LED で確認します。

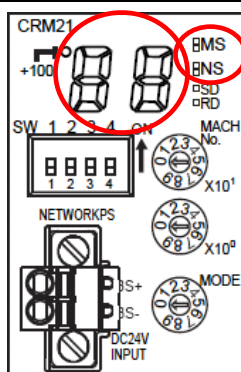
・オムロン製マスタユニット

正常時の LED 状態は以下のとおりです。

[MS]：緑点灯

[NS]：緑点灯

7 セグメント LED は [0] 点灯していれば正常です。(リモート I/O 通信中、通信速度：4Mbps)



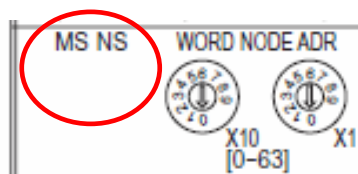
(オムロン製マスタユニット)

・デジタル I/O スレーブ

正常時の LED 状態は以下のとおりです。

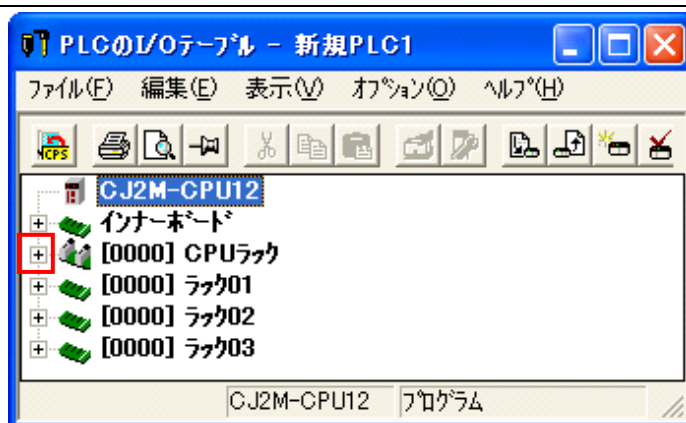
[MS]：緑点灯

[NS]：緑点灯



(デジタル I/O スレーブ)

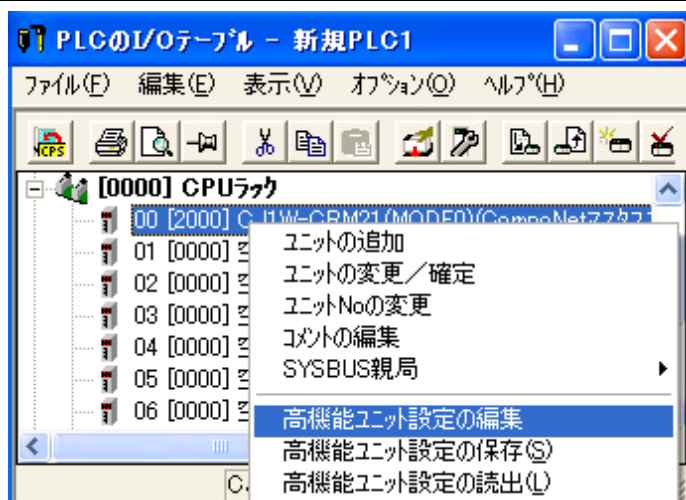
- 2 CX-Programmer の I/O テーブルウィンドウの [[0000]CPU ラック] 左横の [+] を選択します。



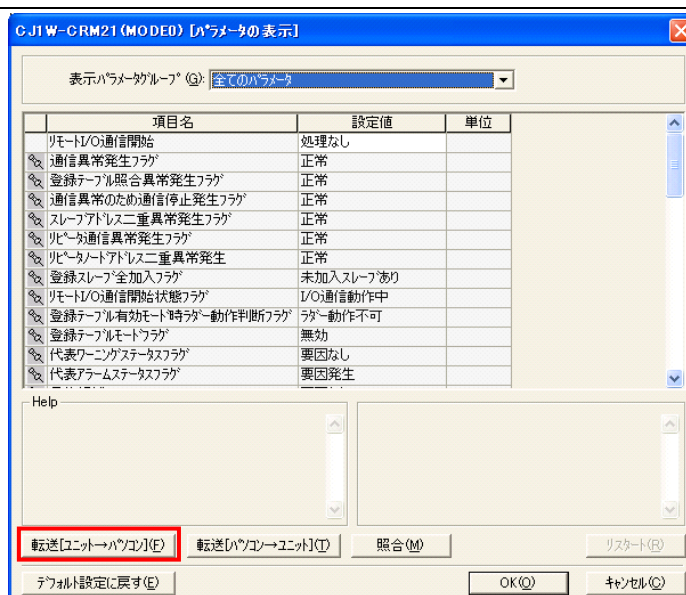
CompoNet マスタユニット (CJ1W-CRM21)が表示されます。



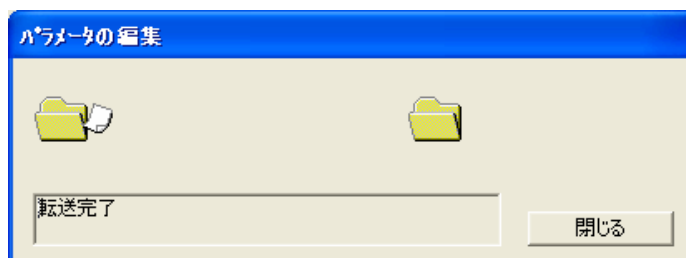
- 3 CompoNet マスタユニットを右クリックし、[高機能ユニット設定の編集] を選択します。



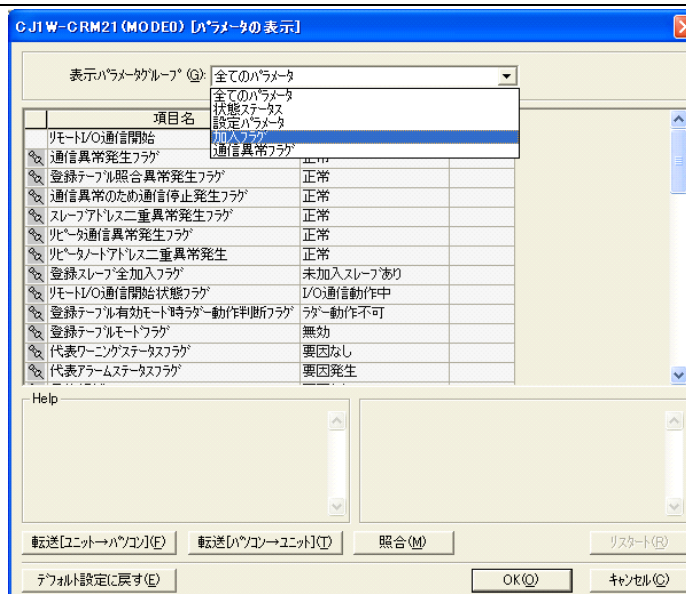
- 4 [パラメータの表示] ダイアログが表示されますので、[転送 (ユニット→パソコン)] をクリックします。



転送が完了したら、[閉じる] をクリックします。



- 5 [パラメータの表示] ダイアログの [表示パラメータグループ] から、[加入フラグ] を選択します。



- 6 「INO 加入フラグ」が、「加入」になっていることを確認します。

表示パラメータグループ (G): 加入フラグ

項目名	設定値	単位
OUT0加入フラグ	未加入	
OUT1加入フラグ	未加入	
OUT2加入フラグ	未加入	
OUT3加入フラグ	未加入	
OUT4加入フラグ	未加入	
OUT5加入フラグ	未加入	
OUT6加入フラグ	未加入	
OUT7加入フラグ	未加入	
INO加入フラグ	加入	
IN1加入フラグ	未加入	
IN2加入フラグ	未加入	
IN3加入フラグ	未加入	
IN4加入フラグ	未加入	

Help

転送[モニター→パソコン](F) 転送[パソコン→ユニット](T) 照合(M) リスタート(R)

デフォルト設定に戻す(E) OK(O) キャンセル(C)

- 7 [表示パラメータグループ] から、[通信異常フラグ]を選択し、「INO 通信異常フラグ」が、「通信異常なし」になっていることを確認します。

「INO 加入フラグ」が「加入」で、「INO 通信異常フラグ」が、「通信異常なし」になっていれば、CompoNet 通信は正常に行われています。

表示パラメータグループ (G): 通信異常フラグ

項目名	設定値	単位
OUT0通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT1通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT2通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT3通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT4通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT5通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT6通信異常フラグ	通信異常なし	
OUT7通信異常フラグ	通信異常なし	
INO通信異常フラグ	通信異常なし	
IN1通信異常フラグ	通信異常なし	
IN2通信異常フラグ	通信異常なし	
IN3通信異常フラグ	通信異常なし	
IN4通信異常フラグ	通信異常なし	

Help

転送[モニター→パソコン](F) 転送[パソコン→ユニット](T) 照合(M) リスタート(R)

デフォルト設定に戻す(E) OK(O) キャンセル(C)

- 8 CX-Programmer の I/O テーブルウィンドウを閉じます。

6.5.2. データ割り付けの確認

正しい I/O メモリエリアにデータが割り付けられていることを確認します。



安全上の要点

I/O メモリの状態を書き換え転送するときは、安全を十分に確認してから行ってください。
ユニットの動作モードにかかわらず、接続機器が誤動作し、けがをする恐れがあります。

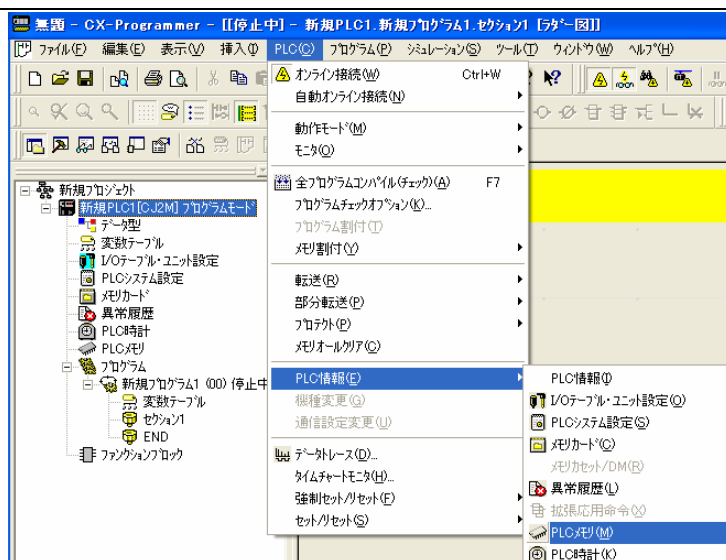


使用上の注意

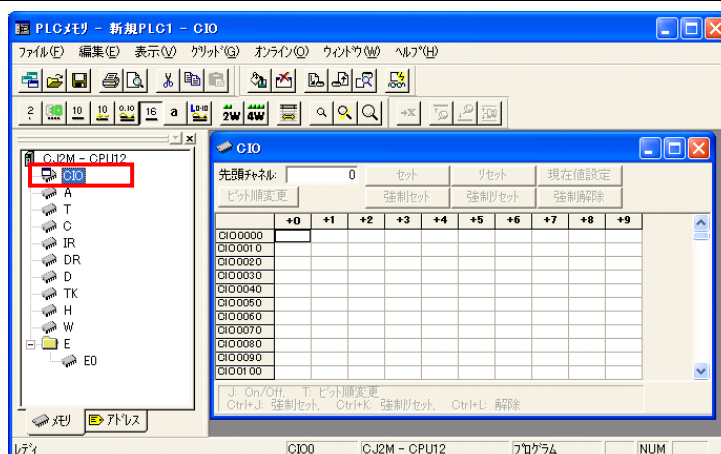
PLC の動作モードがプログラムモードであることを確認してください。

プログラムモードでない場合は、6.4.3 の 1 項の手順で、プログラムモードに変更してください。

- 1 メニューバーから[PLC]－[PLC 情報]－[PLC メモリ]を選択します。



- 2 表示された PLC メモリウィンドウのリストから、[CIO]をダブルクリックします。

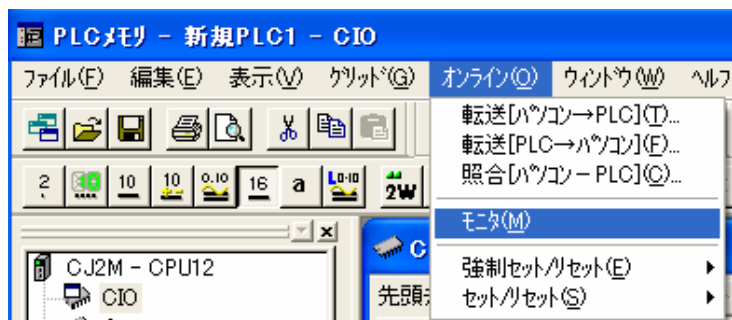


(PLC メモリウィンドウ)

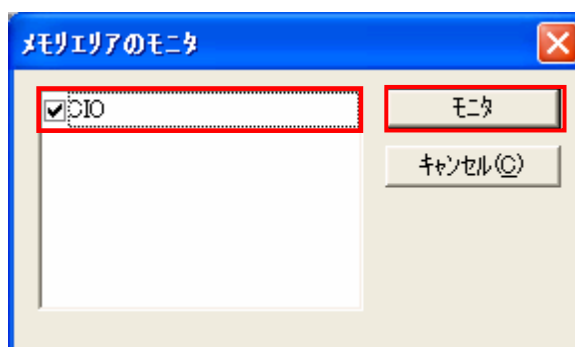
- 3 表示された[CIO]ウィンドウの
[先頭チャンネル] に「2000」を
入力します。
先頭チャンネルが[CIO2000]に変わ
ったことを確認します。



- 4 メニューバーから [オンライン]
- [モニタ] を選択します。



- 5 [メモリエリアのモニタ] ダイア
ログが表示されます。
[CIO]にチェックを入れて、[モニ
タ] をクリックします。



- 6 [CIO]ウィンドウの[CIO2000]チ
ャネル (ここでは「0000」) を選
択し、[現在値設定] をクリック
します。



- 7 [現在値変更:HEX] ダイアログが表示されますので、「1」を入力し、[OK]をクリックします。

現在値設定: HEX

値: 1

入力範囲: 0 ~ FFFF

OK

キャンセル

- 8 [CIO]ウィンドウの[CIO2000]チャンネルに「0001」がセットされたことを確認します。

CIO

先頭チャンネル: 2000

ビット順変更

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9
CIO2000	0001	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0001	0000
CIO2010	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0080	0000	0000	0001
CIO2020	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2030	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2040	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2050	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2060	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2070	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2080	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2090	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2100	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000

J: On/Off, T: ビット順変更
Ctrl+J: 強制セット, Ctrl+K: 強制リセット, Ctrl+L: 解除

- 9 [CIO2008] チャンネルの値が「0001」となることを確認します。

CIO

先頭チャンネル: 2000

ビット順変更

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9
CIO2000	0001	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0001	0000
CIO2010	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0080	0000	0000	0001
CIO2020	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2030	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2040	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2050	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2060	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2070	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2080	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2090	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
CIO2100	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000

J: On/Off, T: ビット順変更
Ctrl+J: 強制セット, Ctrl+K: 強制リセット, Ctrl+L: 解除

- 10 デジタル I/O スレーブ・拡張ユニットの各入出力 LED が、正常に点灯していることを確認します。

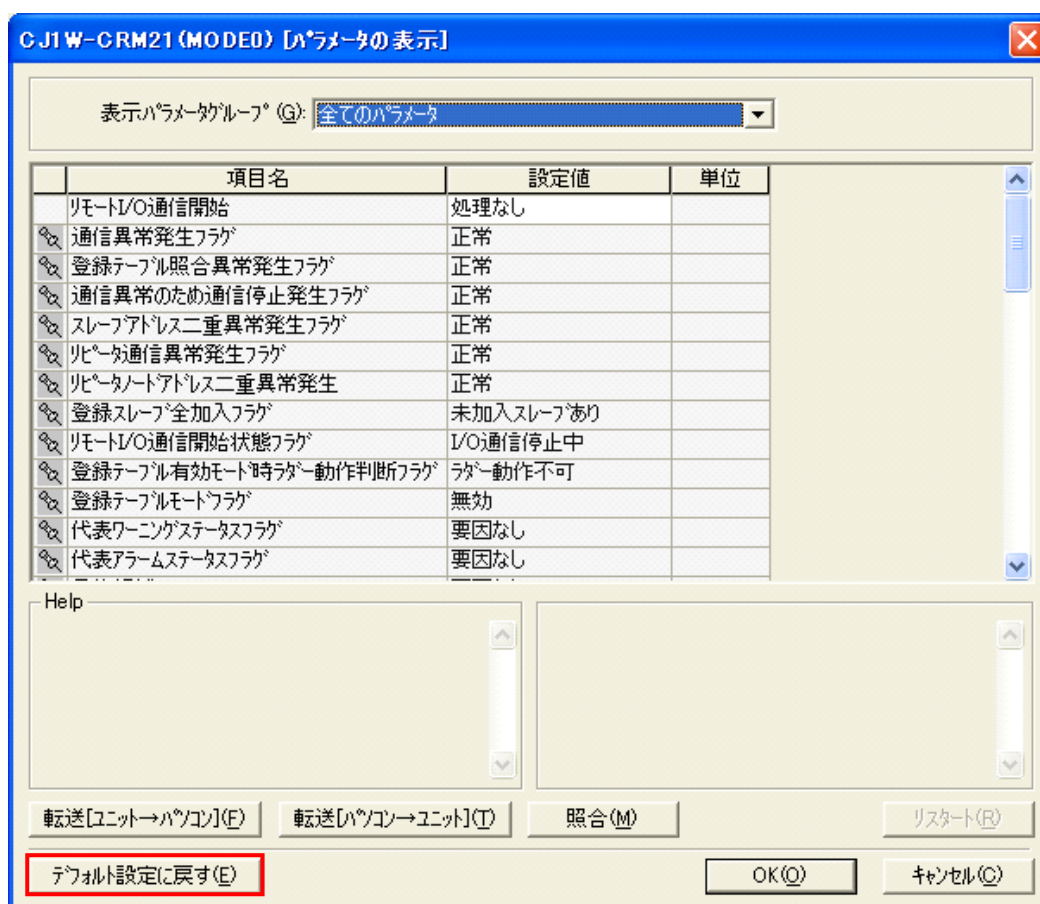
7. 初期化方法

本資料では、マスタユニットが工場出荷時の初期設定状態であることを前提としています。
初期設定状態から変更された機材を利用される場合には、各種設定が手順とおりに進めることができない場合があります。

7.1. マスタユニット

マスタユニットの設定を初期設定状態に戻すためには、「CX-Programmer」にて I/O テーブルウィンドウを開き、マスタユニットを選択後、メニューバーから [編集] - [高機能ユニット設定] を選択します。

[パラメータの表示] ダイアログが表示されますので、[デフォルト設定に戻す] をクリックして処理を進めてください。



8. 改訂履歴

改訂記号	改訂年月日	改訂理由・改訂ページ
A	2010 年 12 月 24 日	初版
B	2011 年 4 月 28 日	誤記修正

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載し、ご使用上の注意事項等は掲載していません。
ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容につきましては、必ずユーザーズマニュアルをお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものではありません。
本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格・性能に対し余裕を持った使い方やフェールセーフ等の安全対策へのご配慮をいただくとともに、当社営業担当者までご相談いただき仕様書等による確認をお願いします。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●お問い合わせ先

カスタマサポートセンタ

クイック オムロン
 **0120-919-066**

携帯電話・PHSなどではご利用いただけませんので、その場合は下記電話番号へおかけください。

電話 **055-982-5015**（通話料がかかります）

【技術のお問い合わせ時間】

■営業時間：8:00～21:00 ■営業日：365日

■上記フリーコール以外のFAシステム機器の技術窓口：

電話 **055-977-6389**（通話料がかかります）

【営業のお問い合わせ時間】

■営業時間：9:00～12:00/13:00～17:30（土・日・祝祭日は休業）

■営業日：土・日・祝祭日/春期・夏期・年末年始休暇を除く

●FAXによるお問い合わせは下記をご利用ください。

カスタマサポートセンタ お客様相談室 FAX 055-982-5051

●その他のお問い合わせ先

納期・価格・修理・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン営業員にご相談ください。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。

オムロン商品のご用命は